

ANNOUNCEMENT

センター報

製本雑誌の移動

すでに報告しましたように、図書館では購読している雑誌が書庫に収納できなくなったため、国領校に設置された保存書庫に国内雑誌の一部を移動し、外国雑誌の一部を書庫1層から2層に移動いたしました。移動後の配架場所は以下のとおりです。利用者の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくご理解のほどお願いします。

外国雑誌 (1988 年以降)	書庫 1 層及び 1 階閲覧室
外国雑誌 (1981 - 1987 年)	書庫 2 層
外国雑誌 (1980 年以前)	書庫 4 層
国内雑誌 (1975 年以降)	書庫 2 層
国内雑誌 (1974 年以前)	国領校保存書庫

(図書館・収集整理係 内線 71-2124)



The U.S. National Archives and Records Administration
(米国、ワシントンDC)

も く じ

製本雑誌の移動 (西新橋)	1
報告『第2回 図書館と電子ジャーナル』	2
新・一歩進んだ検索テクニック⑫ Google	8
英国訪問記 その2	10
ありがとうございました.....	12
新着案内.....	13

医学情報センター図書館では、このたびシンポジウム「第2回図書館と電子ジャーナル」を開催しました。

第1回（2005年3月開催）では、本学における電子ジャーナルの契約形態、利用統計、購読費値上がりへの対応について報告し、参加者をはじめ学内の皆様からご意見をいただくことができました（第1回の概要は本センター報2005年5月号およびイントラネットに掲載 <http://j-net.jikei.ac.jp/~micer/EJsympo01.htm>）。

第2回は、2006年の外国雑誌購読誌選定について、学術雑誌のプリント版から電子版への移行に対応した今後の雑誌購読のあり方も含めて、図書館委員会にて検討していることを報告し、ディスカッションの機会をもつことを目的に開催いたしました。

日時：2005年9月12日（月）17時30分～18時30分

場所：大学1号館6階講堂

参加：24名

内容：第1回の報告

2006年度購読誌の検討

雑誌購読と電子ジャーナル普及への対応

単行書購入の実状

ディスカッション

1. 2006年度購読誌の検討

1. 図書購入予算

図書館の予算の中には、雑誌や単行書を購入するための図書予算があります。表1のように図書予算で購入する雑誌は、プリント版が対象になります。

表1. 図書購入予算

図書予算	電子版の予算
外国雑誌（プリント版） 国内雑誌 単行書	外国雑誌（電子ジャーナル）

- ・プリント版と電子ジャーナルは予算が異なる
- ・国内雑誌、単行書の購入は外国雑誌（プリント版）と同じ予算
- ・外国雑誌購入費用増大のため、国内雑誌や単行書の購入に影響がでている

図1は、1995年度～2004年度の10年間の図書予算における雑誌と単行書の割合を示しています。この間の図書予算の伸び率は、10.8%です。

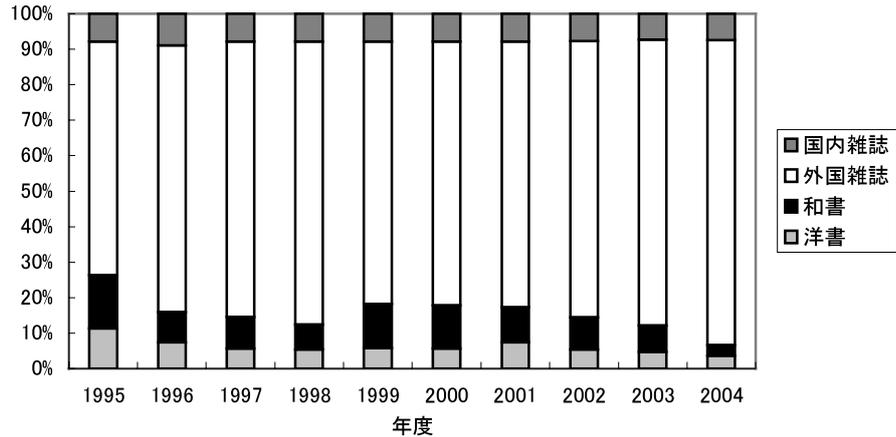


図1. 図書予算における雑誌と単行書の割合

外国雑誌の価格の値上り率は、毎年10%前後のため外国雑誌の図書予算に占める割合が大きくなっています。そのため図書予算は、単純に考えると外国雑誌のプリント版の値上り分を中止していかなければ予算的に不足していく計算になります。しかし、利用状況や利用者の要望を考慮し、ここ数年は必ずしもその値上り分を中止していくことができませんでした。その結果、国内雑誌や単行書の予算を著しく圧迫しています。国内雑誌は、この10年間、平均して図書予算の8%前後を占めていますが、10年前の誌数と比較すると約40誌減少しています。単行書は、外国雑誌の価格高騰の影響を受けて予算が思うように確保できない状況となっています。2004年度は、その傾向が顕著に現れています。

外国雑誌価格の高騰は、図書予算内で雑誌や単行書の購入を維持し続けていくことができない、また雑誌と単行書の予算配分のバランスがとれない原因になっています。

(図書館・収集整理係 山本)

2. 本学のコア雑誌

外国雑誌価格の値上りがこのまま続くと、2007年度には200誌前後（現在の半数）しか購入できなくなる可能性が予想されます（図2）。

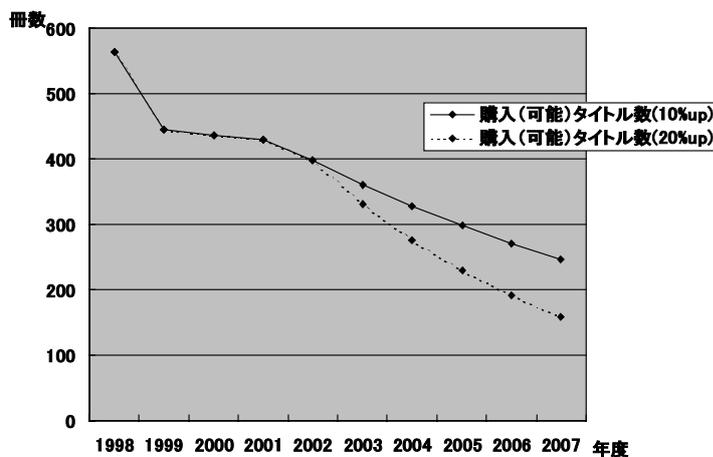


図2. 外国雑誌購入可能タイトル数 (予算額が2002年度と同額の場合)

この対策として、2002年1月、図書館委員会では「本学の教育・研究・診療に必須である主要な外国雑誌で、今後数年は購入中止の対象とはしない雑誌」として、コア雑誌を選定することになりました。講座・研究室・診療科を対象にアンケート調査を実施し、分野の偏りや漏れがないよう図書館委員会で協議を重ね、2003年3月、168誌が選定されました（表2）。

表2. コア雑誌選定までの流れ

年月	選定手順	選定誌数 (累積)
2000年10月～ 2001年10月	外国雑誌利用調査	—
2002年1月～2月	第1回・コア雑誌選定のための評価基準アンケート実施 コア雑誌選定評価基準の決定	—
2002年2月	図書館委員会によるコア雑誌の選定	31誌
2002年6月～8月	第2回・コア雑誌選定のためのアンケート調査実施 コア雑誌94誌選定	125誌
2003年1月	主題別コア雑誌の分野別の再検討および33誌追加	158誌
2003年3月	専門分野の研究者によるコア雑誌10誌の追加 コア雑誌168誌選定	168誌

コア雑誌のリストは図書館入り口およびホームページに掲載してあります。

(<http://j-net.jikei.ac.jp/~micer/CoreJournalList.htm>)

(図書館・収集整理係 田中)

3. 2006年度外国雑誌選定

図書購入予算（I-1参照）で述べたような状況をふまえ、2006年度は、多くの外国雑誌を中止せざるを得ません。購読中止の選定方針などは以下のとおりです。

(1) 2006年度外国雑誌購読中止候補の選定方針

1) 「コア雑誌」以外は中止候補とする

コア雑誌（I-2参照）は、購読を継続していきます。中止候補は、2005年1月より図書館で実施しているプリント版の利用調査（閲覧・貸出・複写）の回数（1月～6月の集計）を考慮し選定します。利用回数が0回、1回など非常に少ないプリント版（コア雑誌は除く）は、中止の有力候補となります。

2) 電子ジャーナルを利用できる雑誌はプリント版中止候補とする

従来、雑誌に関しては、電子ジャーナルだけではなくプリント版の維持が必要であるとの要望も寄せられていました。最近では電子ジャーナルの将来のアクセスを保証する出版社も出てきており、電子ジャーナルがあればプリント版がなくても良いのではないかという意見が聞かれるようになってきました。外国雑誌のプリント版を中止することにより、国内雑誌や単行書の購入に充てる予算を増加することができます。また、外国雑誌は、形態は変わりますが電子ジャーナルとして利用できる状態を保つことができます。

(2) 中止候補選定の留意点

雑誌によっては、プリント版の利用回数が0回、1回と少数でも電子ジャーナルの利用回数が100回以上あるものがあります。また、プリント版と電子版を分けて個別に購入することができない雑誌もあります。そのため利用回数だけでは、一概に雑誌の購読を中止にすることはできません。

予算面においても、電子版はプリント版より高価な場合があります。電子版の予算もプリント版を購入する図書予算と同様に限度がありますので、長期的には新たな方針が必要となります。

(図書館・収集整理係 橋本)

II. 雑誌購読をめぐる課題 —電子ジャーナルの普及への対応—

2006年度の購読外国雑誌の選定方法について図書館委員会で検討されていることを報告してきました。今後は、電子ジャーナル普及に対応した購読誌選定も大きな課題となってきます。

電子ジャーナルは研究室のパソコンからアクセスでき、プリント版のように貸出中や紛失のため利用できないことがないという利点があります。一方、電子ジャーナルの利用は、パソコンとネットワーク環境や出版社との契約内容に影響されるため、将来のアクセスの保証も含め、安定した利用については不安が残ります。

しかしながら、電子ジャーナルの普及は進んでおり、電子ジャーナル利用についての現在の不安は少なくなっていくことが予想されます。学術雑誌の電子ジャーナル化に関して、2010年には雑誌購読の9割が電子ジャーナルで占められるとの予測もあります (Turner R. Hidden Costs of E-journals. The Serials Librarian 2005; 48(1/2): 215-28)。

今後の電子ジャーナルの導入について、次の点の検討が必要であると考えております。

(1) プリント版と電子ジャーナルの重複購読の見直し

(2) 電子ジャーナル版コア雑誌の検討

現在のコア雑誌はプリント版の購読を継続することを前提としているため、電子ジャーナルでの購読維持が必要な雑誌の選定を進める。

(3) 学内各部署で重複購読している雑誌の電子ジャーナル契約への一本化

複数部署で購読している同一雑誌のプリント版購読を中止し、電子ジャーナルでの利用へ一本化するの
が適切な雑誌の選定を検討する。

(図書館・総務担当 北川)

III. 単行書購入の実状

1. 単行書購入の問題と対策

図3は、単行書の購入冊数を2000年度から2004年度まで示したものです。和書と洋書を合わせた購入冊数は、2000年度より毎年減少しており2004年度は2000年度と比較すると4分の1以下の冊数にまで落ち込んでいます。このような傾向が続くと、教育に必要な最低限の単行書も購入していくことが難しくなります。

単行書の購入冊数が減少している原因は、外国雑誌の価格の高騰です。そのことが図書予算の中で単行書の予算を十分に確保していくことができない状況を作っています。

図書館では図書館委員会と協議し、2005年度より限られた予算内で一定レベルの単行書をそろえる必要性から図書分類の分野ごとに洋書の基本図書を決め、洋書はこの基本図書を優先的に購入していくことにしました。洋書の基本図書の選定は、あらかじめ図書館が作成した基本図書候補リストをもとに、図書館委員に協力いただき決定しました。2005年7月現在、基本図書が選定されている分野は、15分野(解剖学・生理学・薬理学・臨床検査・病理学・法医学・公衆衛生・内科学・心臓血管系・血液学・消化器系・精神医学・外科学・産婦人科学・眼科学)です。残りの分野の基本図書についても図書館委員や専門の研究者に協力を願い選定していく予定です。

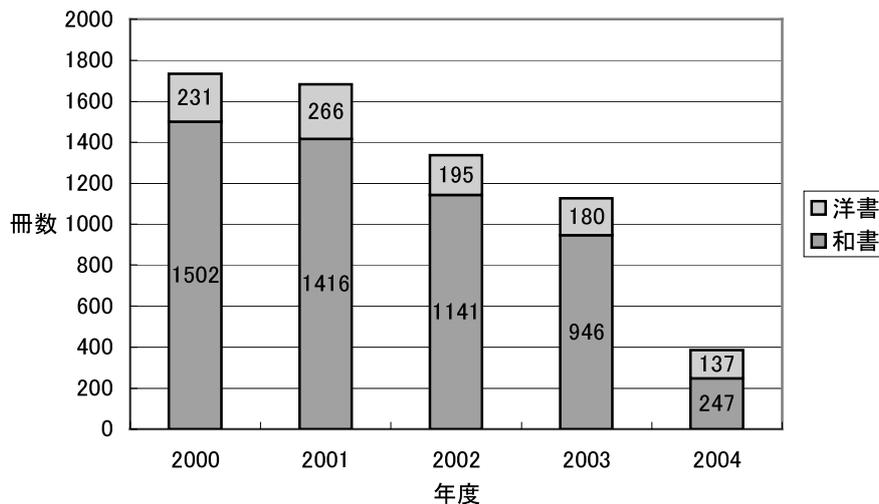


図3. 単行書購入冊数（年度比較）

（図書館・収集整理係 細矢）

2. 電子ブックの可能性

電子ブックの特徴は大きく3つ挙げることができます。

- ・分院や医局など学内 LAN から 24 時間アクセスが可能
- ・それぞれのパッケージごとに購入している複数の電子ブックの横断検索が可能
- ・内容が随時更新され、プリント版に比べ新しい情報をいち早く入手できる

図書館で導入している電子ブックは、医学情報センターのホームページ（イントラ版 <http://j-net.jikei.ac.jp/~micer/>）の Quick Menu からログインすることができます。現在は OVID 社の Books@OVID と『今日の診療』を購入しています。

Books@OVID では「Clinical Evidence」「Harrison's Principles of Internal Medicine」「Washington Manual」の3タイトルを購入しています。

『今日の診療』は、「今日の治療指針」「今日の診断指針」「今日の整形外科治療指針」「今日の小児治療指針」「今日の救急治療指針」「臨床検査データブック」「治療薬マニュアル」から成っています。分野や診断・治療・検査などの絞込検索やさらに AND、OR などの掛け合わせ検索をすることで、より速く目的の内容にたどり着くことができます。

電子ブックに関しては、次号に掲載しますのでご一読ください。

（図書館・収集整理係 山田）

IV. おわりに

図書館職員からの報告に引き続き、ディスカッションの時間がもたれ、参加者から次の意見が出されました。

- ・ 図書予算の中にプリント版と電子ジャーナルの区別を設けず、雑誌予算という枠組み中でプリント版と電子ジャーナルを適切な割合で購読するほうが、購読費値上がりに対して柔軟に対応できると思われる。
- ・ 雑誌購読予算が限られているなら、購読誌はコア雑誌のみとし、コア雑誌以外に掲載された論文は、他館との協力で至急入手できる体制を整えることも1つの方策と思われる。
- ・ プリント版を中止して電子ジャーナルのみの契約にすると、過去の年代の内容を参照することができなくなるおそれがある。
- ・ 雑誌価格が毎年10%近く値上がりすることが理解できない。電子ジャーナル化への投資も落ち着いてきたと思われるし、著者が負担する投稿費も安くなっておらず、出版社への経済的負担がどの部分で大きくなっているのかを追求する必要があると思われる。

購読雑誌選定のためには、教育、研究、診療のために求められる情報利用環境や単行書・雑誌の収集・保存体制といったことを含め、大学における図書館の役割を検討する必要があるとの意見も寄せられています。

図書館の購読誌の検討は、図書館委員会での検討や学内へのアンケート調査を中心に進めてきました。今後は、利用者の皆様から直接意見を受ける場として「図書館と電子ジャーナル」を定期的で開催したり、このほかイントラネットを利用した情報交換も開始することを検討しております。

なお、今回の「図書館と電子ジャーナル」開催については、メールでの開催連絡の回数が少なく、またホームページや掲示物での宣伝も目立たなかったとの指摘を複数の方から受けました。今後の留意点としなくてはならないと反省しております。

また、雑誌購読費の値上がりに対しては、図書館関連団体においても、電子ジャーナルの共同購入による値引きや購読中止した雑誌に掲載されている論文の複写を他館から至急入手するための体制などが検討されています。

(図書館・総務担当 北川)

新・一歩進んだ検索テクニック ⑫

Google を使ったインターネット情報の検索

Yahoo や Google などのサーチエンジンは、インターネットの世界での情報収集に不可欠の存在となっています。しかし、検索してみるとあまりに件数が多かったり、逆に 0 件だったり、とりあえず最上位に表示されたサイトを信用してそれ以上調べなかったり、ということはないでしょうか。ここでは Google を取り上げて、効果的に検索する方法をご紹介します。

Google の使いかた

Google の検索画面はシンプルで、キーワードの入力欄と、その上の「ウェブ イメージ ニュース・・・」という検索対象を指定する部分からなります。

キーワードはスペースを空けて複数の言葉を入力すると、すべてのキーワードを含む検索を行います。また、Google では入力語の完全一致検索を行います。*（アスタリスク）をつけても前方一致検索にはなりません。



件数が多いときは

- 不要なものを除く： -（半角ハイフン）をつけた言葉を除きます

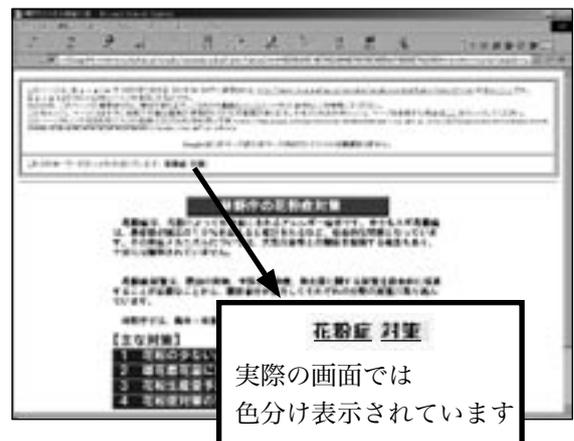
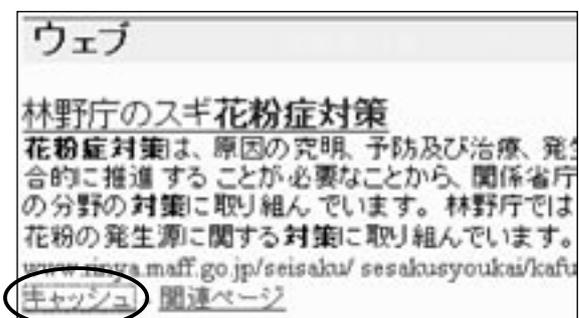
花粉-スギ

- フレーズ検索する：“ ”（ダブルコーテーション）で囲みます

"花粉症対策"

"kidney failure"

※ Google ではスペースを空けなくても、自動的に言葉を最少単位に分割（「花粉症」と「対策」）して検索します。どのように分割されたかは、検索結果の「キャッシュ」で確認することができます（右図）。



件数が少ないときは

- 同義語を足す：OR をつけると、いずれかの言葉を含むページを検索します

頭痛薬の種類 OR 脳神経痛薬

- 思いついた言葉だけでなく、ページに確実に含まれている言葉を推測してみてください

検索オプションの便利な機能

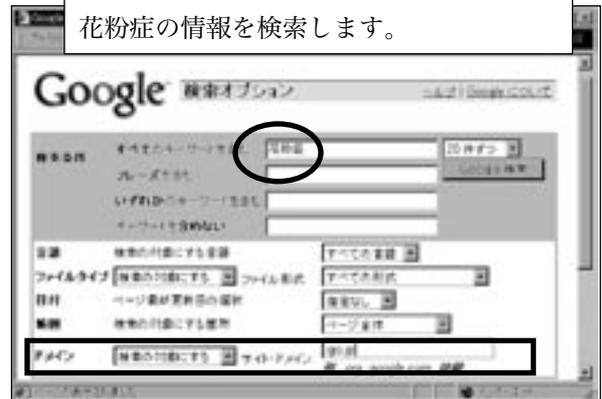


検索オプション
表示設定
言語

<ドメイン>

指定した Web サイト内に限定して、キーワード検索をします。信頼できるサイトから情報を入手したり、特定の Web サイトの中で言葉を検索したいときに便利です。

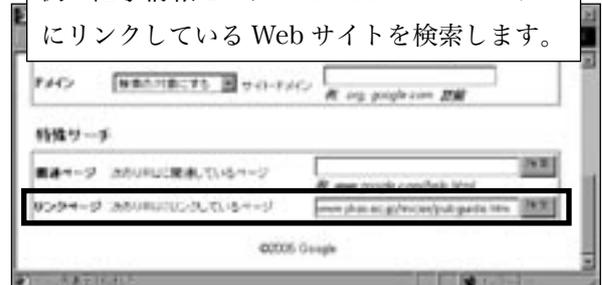
例「.go.jp(政府機関)」の Web サイトから、花粉症の情報を検索します。



<リンクページ>

指定した URL にリンクしているページを検索します。関連ページが検索できたり、自分の Web サイトにリンクしているページを見つけることができます。

例 医学情報センターの PubMed マニュアルにリンクしている Web サイトを検索します。

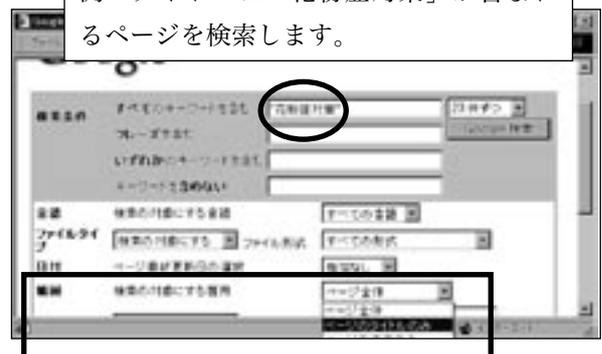
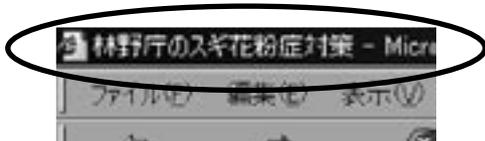


<範囲>

検索結果が多いときには、ページタイトルのみに限定すると効果的です。

ページタイトルとは下図の部分のことで、そのページ全体がキーワードに関するものと考えられます。

例 タイトルに「花粉症対策」が含まれるページを検索します。



(図書館・利用サービス係 古関 71-2122)

英国訪問記 その2

医学情報センター・図書館
利用サービス係 宮下牧子

前号に引き続き、昨年12月にNPO法人日本医学図書館協会主催の海外研修で訪れた英国について報告する。前号では英国の医師がいかにして医療情報を得ているかということについて報告した。今回は一般の人々がどのように医療情報を得ているか、また英国の患者図書館についても紹介する。

* King's College London の St. Thomas 病院内患者図書館

St. Thomas 病院の患者用図書館「Knowledge & Information Centre (以下 KIC)」は2004年4月に新設された、英国初の「医療全般について患者と病院職員に対して情報提供をする図書館」である。英国では専門図書館が多く、それらが各特定分野に関してのみ一般にも情報を提供するというは古くから行われてきたが、医療全般を対象として一般にも開かれた図書館というものは KIC が初めてなのだそうだ。日本でも昨年医療全般について情報提供する患者図書館が注目されている。東京女子医科大学の「からだ情報館」が有名だが、この6月から慈恵医大でも「すこやか情報館」がオープンされた。しかし大学病院とはいえ専門知識を持たない人に医療情報を提供するのは容易なことではないので、英国ではその点が懸念され今まで着手されなかったようだ。

KIC は病院の一階にあり、全体に明るい色を使った休憩所風になっていた。本棚には主要疾病ごとの本とリーフレット、地方および国家のサポートグループの詳細、診療所に配付される情報などが並べられており、誰でも自由に利用できる。ここは患者も病院関係者もともに利用可能で、インターネットも使用できる。6人の専属スタッフは司書の他に元看護師もおり、検索の手助けをしているとのことだ。患者図書館の運営は大学病院だけでなく、医学図書館界にも大きく期待されている分野で、医学図書館側でも患者図書館に対し何ができるか検討しているところである。

英国では医療情報の提供には国が責任を負っているため、次は英国の衛生省のサービスについて書くこととする。

* 英国の一般への医療情報の提供について

英国の衛生省 (National Health Service, 以下 NHS) は医療行為の提供や、医療従事者の医療技術の向上に責任を負っているだけでなく、医療・健康情報の提供にも責任を負っている。NHS はインターネットのホームページで医療情報の提供を行っており、全英国民がここで各疾病のガイドライン・コクランライブラリなどの最新の医療情報だけでなく、一番近くの NHS 関連病院について調べられたり、最近お茶の間で話題になっている健康情報についてどれだけ医学的根拠があるのかを考察したものまで無料で見られる。インターネットを利用しなくても受けられるサービスには、次の「NHS Direct」と「Patient Advice and Liaison Services」がある。

「NHS Direct」は、医療に関する疑問を電子メールか電話で問い合わせ、それに対し看護師が回答してくれるというサービスで、約3000人のスタッフにより運営されている。

「Patient Advice and Liaison Services (以下 PALS)」は、NHS 関連病院内に設置された窓口で、健康に関する疑問から自分の診療内容にいたるまで、医師・病院スタッフから適切な回答を得られるというサービスである。PALS 窓口の設置は2002年より全 NHS 関連病院に義務化され、病院評価にも大きく関わるため、どの病院でも力を入れているサービスである。

* King's College London と慈恵

King's College London (以下 KCL) はご存知の通り本学の学祖・高木兼寛先生が留学された医学校で、現在は本学と姉妹校となり毎年双方で交換留学生を受け入れている。今回筆者の KCL 訪問にも、外科学講座の北嘉昭講師のお力添えをいただき、KCL の各方面の方々に助けていただくことができた。KCL の Roger Jones 教授と見学のアレンジメントと実際の見学ツアーを行ってくださった図書館員の皆様、ほかご尽力くださった全ての方に感謝の念をささげたい。

KCL は University of London の組織の 1 つで、6 つのキャンパスに 9 つの図書館を持つ総合大学である。そのうち医学系のキャンパスが Guy's と St. Thomas でともに Guy's 病院と St. Thomas 病院が並立している。Guy's campus は地下鉄ロンドン・ブリッジ駅近くにあり、環境の整った新しい図書館ができていた。中庭に大きな桜の木があり、英国では桜はこの時期に咲くようで満開であった。

St. Thomas 病院はテムズ川の南、ウォータールー駅に程近く Guy's Campus と同様遠くない。この付近のテムズ川沿いには 2000 年前後に造られたモダンな建築物も多くおもしろい地域だ。特にロンドン・アイという観覧車は目を引く。ラグビーボールを横にしたような形をしたゴンドラに 15 人くらいずつ乗せられる。が、移転するという話も聞くのでご注意ください。他にもミレニアム・ブリッジなどもお勧めなので、KCL に行く機会のある方はぜひこの付近を散策されるとよいと思う。散策に疲れたら、テート・ブリテン美術館の最上階にあるイタリアンカフェ&レストランに立ち寄ってもいい。ロンドンを眺めおろしながらのカプチーノ、というのも気持ちが良いものだ。ぜひ旅の 1 ページに足を運んでみてほしい。



** ありがとうございます **

図 書 館

著者からの寄贈

青戸病院外科	吉田 和彦助教授	あなたのがん治療本当に大丈夫？：セカンド オピニオン キヤンサーネット・ジャパン編 三省堂 2005 272p.	¥1600
元小児科学講座	今村 榮一先生	ことばの散歩道 今村 榮一著 診断と治療社 2005 151p.	¥1800
浜松大学	竹内 修二教授	解剖生理学 改訂2版(新クイックマスター) 竹内修二著 医学芸術社 2005 407p.	¥2900
昭和42年卒	前納 宏章先生	ホームドクターからのメッセージ 前納宏章著 現代書林 2005 159p.	

一般寄贈

産婦人科学講座	落合 和徳教授	環境生殖学入門	他1冊
---------	---------	---------	-----

国 領 分 館

著者からの寄贈

浜松大学	竹内 修二教授	解剖生理学 改訂2版(新クイックマスター) 竹内修二著 医学芸術社 2005 407p.	¥2900
------	---------	--	-------

一般寄贈

	小口 江美子氏	国境なき医療奉仕 小口江美子著 2005 176p.	非売品
--	---------	-------------------------------	-----

資 料 室

一般寄贈

第三病院	坂井 春男院長	慈恵医大第三病院開院50周年記念誌	1冊
微生物学講座第2	益田 昭吾教授	志賀潔先生書幅	1幅
	松田 誠名誉教授	高木兼寛の医学IV	1冊

** 新着案内 **

図 書 館

新着案内 (和書) (2005. 6. 27 ~ 8. 28)

請求記号	書名	著編者	出版者	出版年
QS4/Ma820.3	人体解剖ビジュアル：からだの仕組みと病気	松村譲児著	医学芸術社	2005
QS17/A630	透視人体解剖図 新訂版	新井正治編	金原出版	2004
QS17/N660	ネッター解剖学アトラス	ネッター著	南江堂	2004
QS504/J950	ジュンケイラ組織学	Luiz Carlos Junqueira, José Carneiro 共著	丸善	2004
QT36/O540 (参考 3)	人間工学の百科事典	大久保堯夫ほか編	丸善	2005
QT261/A530	実践アトラスでよくわかるスポーツ外傷・障害診療マニュアル	青木治人編集	全日本病院出版会	2005
QU4/H330I	イラストレイテッドハーバー・生化学	Robert K. Murray ほか著	丸善	2003
QU4/V850b/1	ヴォート生化学 第3版 上	Donald Voet ほか著	東京化学同人	2005
QU145/Ka170	五訂食品成分表：ダイジェスト版	香川芳子監修	女子栄養大学出版部	2003
QV4/E590a	医系薬理学 改訂2版	遠藤仁ほか編著	中外医学社	2005
QV55/Mi770/ 2005	今日の治療薬：解説と便覧 2005年版(第27版)	水島裕, 宮本昭正 共編著	南江堂	2005
QV771/U140 (参考 3)	臨床試験・治験用語・用例集：わかりやすい説明文書作成のために	内田英二ほか編著	じほう	2004
QW568/Su240	サイトカイン・増殖因子：用語ライブラリー	菅村和夫ほか編	羊土社	2005
QW575/N770	CD分類ハンドブック(2000)：細胞の分化抗原(抗体)に関する国際分類 改訂第4版	日本バイオセラピー学会編	癌と化学療法社	2003
QY4/Ka440h	臨床検査法提要 改訂第32版	金井正光編集	金原出版	2005
QY4/Ko270/3 (参考 8)	広範囲血液・尿化学検査免疫学的検査：その数値をどう読むか 第6版；3(日本臨牀；63巻増刊7号)		日本臨牀社	2005
QY4/Ku740/ 2005-2006	臨床検査データブック 2005-2006	黒川清ほか編集	医学書院	2005
QZ4/E620b	わかりやすい病理学 改訂第4版	岩田隆子ほか編集	南江堂	2005
QZ50/N220	遺伝カウンセリングを倫理するケーススタディー	長崎遺伝倫理研究会編	診断と治療社	2005
QZ200/To550/ 2004(参考 9)	がん・統計白書：罹患/死亡/予後 2004	富永祐民ほか編集	篠原出版	2004
QZ201/Y670	最新もっともくわしいがんの本	矢沢サイエンスオフィス編	学習研究社	2005
W13/Sa221c (参考 3 略)	最新医学略語辞典 第4版	斎藤泰一, 清水哲也 編集	中央法規出版	2005
W20.5/G170	NIH 臨床研究の基本と実際	John I. Gallin 編	丸善	2004
W20.5/To461/31	東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター DNA 医学研究所年報；no.31(平成15年度)	同年報編集委員会編	同研究所	2005
W20.5/To463.1 /2004	[東京慈恵会医科大学] 研究室附属成果報告書 / 医学科3年生 平成16年度		東京慈恵会医科大学	2005
W26.5/I673/24	医療情報学連合大会論文集；第24回(CD付き)		医療情報学連合大会	2004
W32/Ka210/2005 (参考 10 法)	介護保険六法 平成17年版	介護保険法規研究会監修	中央法規出版	2004
W62/F840	医療面接技法とコミュニケーションのとり方(基礎臨床技能シリーズ；1)	福島統編集	メジカルビュー社	2003
W85/Ko830	患者相談マニュアル：報告書	厚生労働科学研究・患者相談への対応事例集作成に関する研究班編	じほう	2004
W85.5/Ka860	患者の生き方：よりよい医療と人生の「患者学」のすすめ	加藤真三著	春秋社	2004
WA25/N770/2005	衛生試験法・注解 2005	日本薬学会編	金原出版	2005
WA105/G820a	医学がわかる疫学 第3版	Raymond S. Greenberg 編著	新興医学出版社	2004
WA320/Sh965i	新・小児保健 第9版	今村栄一ほか編著	診断と治療社	2005
WA495/N950	健康管理室で役立つところの医学	野村総一郎, 高橋祥友, 川上憲人 編集	南江堂	2005
WA697/Sh960/2005 (参考 10 法)	食品衛生小六法 平成17年版		新日本法規出版	2004

請求記号	書名	著編者	出版者	出版年
WA900/C432/2003 (参考9)	地域児童福祉事業等調査報告 平成15年	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2005
WA900/H822/2003 (参考9)	保健福祉動向調査 平成15年:アレルギー様症状	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2004
WA900/J520/ 2003:1(参考9)	人口動態統計 平成15年 上巻	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2005
WA900/J520/ 2003:2(参考9)	人口動態統計 平成15年 中巻	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2005
WA900/J523/ 1998-2002 (参考9)	人口動態保健所・市区町村別統計:人口動態統計特殊報告 平成10~14年(人口動態統計特殊報告)	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2004
WA900/Ka551/ 2003(参考9)	簡易生命表 平成15年	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2004
WA900/Ko482/ 2002(参考9)	国民医療費 平成14年度	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2004
WA900/Ko483/ 2003(参考9)	国民生活基礎調査 平成15年	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2004
WA900/Ko830/ 2004(参考9)	厚生統計要覧 平成16年度	厚生省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2005
WA900/Ko831.1/ 2004(参考9)	図説国民衛生の動向 2004		厚生統計協会	2004
WA900/Ko831.7/ 2004(参考9)	我が国の保健統計 平成16年	厚生労働省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2005
WA900/Sh993 (参考9)	出生前後の就業変化に関する統計:人口動態職業・産業別統計と21世紀出生児縦断調査のリンケージ分析(人口動態統計特殊報告)	厚生労働省大臣官房統計情報部編	厚生統計協会	2004
WA950/N960a	論文が読める!早わかり統計学:臨床研究データを理解するためのエッセンス 第2版	ジェフリー・R・ノーマン, デビッド・L・ストレイナー著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2005
WA950/O540.2	医薬研究者のための研究デザイン入門	奥田千恵子著	金芳堂	2004
WB50/Sh690a	診療所マニュアル 第2版	地域医療振興協会編	医学書院	2004
WB100/N2805/ 2005	内科学レビュー:最新主要文献と解説 2005	酒井紀ほか監修	総合医学社	2005
WB100/Sa290	からだの百科事典	坂井建雄ほか編集	朝倉書店	2004
WB120/Ta380	家庭医学大百科:ビッグ・ドクター 最新版	高久史磨ほか総合監修	法研	2004
WB141/H980	医療・ヘルスケアのための決断科学:エビデンスと価値判断の統合	Myriam Hunink ほか著	医歯薬出版	2004
WB141/N2800d	内科診断学 改訂9版	黒川清ほか改訂編集	金芳堂	2004
WB290/A120 (参考11)	診療科目別正しい診療録の書き方	阿部好文, 福本陽平編著	朝倉書店	2004
WB290/Sa320 (参考11)	診療録の記載の仕方とプレゼンテーションのコツ(基礎臨床技能シリーズ:2)	酒巻哲夫, 阿部好文編集	メジカルビュー社	2004
WB320/R3904/10	神経疾患とリハビリテーション(リハビリテーションMOOK:10)	大橋正洋ほか編集	金原出版	2005
WB541/Sa850.1	運動療法と運動処方:生活習慣病対策および健康維持・増進のための	佐藤祐造編著	文光堂	2005
WC100/Ko490	感染症の事典	国立感染症研究所学友会編集	朝倉書店	2004
WC202/Sa250	肺炎:高齢者診療のツボ	斎藤厚	日本医事新報社	2005
WD200.5/O320	高脂血症ハンドブック	及川眞一, 小竹英俊著	ヴァンメディカル	2005
WD650/O690	新しい潜水医学	大岩弘典著	水中造形センター	2003
WE101/H860b	整形外科医のための手術解剖学図説	Stanley Hoppenfeld ほか著	南江堂	2005
WE141/Y960	ケースレビュー骨軟部の画像診断(Case review series)	Joseph Yu 著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2005
WE168/Sh670/ 25	基本整形外科手技:検査法, 外来・病棟処置法, 手術法(新OS NOW 新世代の整形外科手術:25)	清水克時担当編集委員	メジカルビュー社	2005
WE250/F790.2	骨粗鬆症の診断と鑑別:骨密度測定と脊椎画像診断	福永仁夫編	医薬ジャーナル社	2005
WF700/L620	胸膜疾患のすべて	リチャード・W.ライト著	診断と治療社	2005
WF975/I350a	胸部のCT 第2版	村田喜代史ほか編集	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2004
WG20/Ko830/ 2003	厚生労働省循環器病研究委託費による研究報告集 平成15年度	国立循環器病センター運営部編	国立循環器病センター	2005
WG100/Me140b/6	心臓核医学検査(新目でみる循環器病シリーズ:6)	西村恒彦編集	メジカルビュー社	2005
WG141.5/O710b	経食道心エコー法マニュアル 改訂第3版	渡橋和政著	南江堂	2005
WG168/Ko490a	新心臓血管外科管理ハンドブック	国立循環器病センター心臓血管部門編	南江堂	2005
WG170/Y620	最新血管外科手術:106の手術症例に学ぶ	安田慶秀著	メディカルレビュー社	2005

請求記号	書名	著編者	出版者	出版年
WG200/Sh6907a/1	心エコー図で診る(新・心臓病診療プラクティス;1)	中谷敏, 別府慎太郎 編集	文光堂	2004
WG200/Sh6907a/2	心疾患の手術適応と至適時期(新・心臓病診療プラクティス;2)	赤阪隆史, 吉川純一 編集	文光堂	2004
WG202/R150	心血管機能の神経性調節	Walter C. Randall 編著	医薬ジャーナル社	1988
WG205/Sh692	ACLSトレーニングマニュアル	心肺蘇生法委員会編著	日本医師会	2005
WH100/H640	血液の事典	平井久丸, 押味和夫, 坂田洋一編	朝倉書店	2004
WH525/Se170	悪性リンパ腫・臨床と病理:ALTSGの研究から	成人リンパ腫治療研究会編	先端医学社	2005
WH700/H420	カラーアトラスリンパ節細胞診:悪性リンパ腫を中心に	島山重春編	医歯薬出版	2005
WI100/Sh9614/2005-2006	消化器疾患最新の治療 2005-2006	戸田剛太郎ほか編	南江堂	2005
WI141/Su250	ダブルバルーン内視鏡:理論と実際	菅野健太郎監修・編 /山本博徳, 喜多宏人 編	南江堂	2005
WI250/H841	GERD 治療の新たなストラテジー	本郷道夫編著	先端医学社	2005
WI302/I541	胃粘液バリアー	堀田恭子ほか監修	メジカルビュー社	2005
WK102/Se190	ホルモンの事典	清野裕ほか編	朝倉書店	2004
WL100/H640.1a	目でみる神経内科学 第2版	平井俊策ほか著	医歯薬出版	2004
WL101/H150b	ハインズ神経解剖学アトラス 第3版	Duane E. Haines 著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2005
WL200/N770(参考4)	EBMに基づくクモ膜下出血診療ガイドライン	日本脳卒中の外科学会 クモ膜下出血診療ガイド ライン改訂委員会編	じほう	2004
WL300/H310	脳の地図帳:人体スペシャル	原一之著	講談社	2005
WL348/N770(参考4)	特発性正常圧水頭症診療ガイドライン	日本正常圧水頭症研究 会, 特発性正常圧水頭 症診療ガイドライン作成 委員会編	メディカルレビュー社	2004
WL368/N9705/10	定位・機能神経外科(脳神経外科学大系;10)	片山容一専門編	中山書店	2005
WL385/B770	てんかんハンドブック 第2版	トーマス R. ブラウンほか 著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2004
WL400/Ko970a	脊髄・末梢神経の外科 改訂第3版	小山素庵, 寶子丸稔著	南江堂	2005
WM100/Ka861h	精神医学 第10版(Minor textbook)	加藤伸勝著	金芳堂	2005
WM207/Ka370.1(参考4)	気分障害治療ガイドライン	上島国利編	医学書院	2004
WO250/Ta590	実践 NPPV(非侵襲的陽圧換気療法):これでわかる NPPV の実際	竹田晋浩編著	克誠堂出版	2005
WO600/Ke610a/2-4	美容外科:最近の進歩 第2版(形成外科 ADVANCE シリーズ;2-4)	大森喜太郎編著	克誠堂出版	2005
WO925/O380a	系統小児外科学 改訂第2版	岡田正編著	永井書店	2005
WQ11/I230	生殖内分泌学を築いた巨匠達の群像	五十嵐正雄著	メディカルレビュー社	2004
WQ160/Ki630	今日の助産:マタニティサイクルの助産診断・実践過程(Nursing)	北川眞理子, 内山和美 編	南江堂	2003
WQ200/Sh260	心理的問題をもつ妊産褥婦のケア:助産師による実践事例集	新道幸恵, 北村俊則編	医学書院	2005
WQ202/I890	産科婦人科超音波医学(超音波医学 TEXT)	伊東紘一, 平田経雄編	医歯薬出版	2004
WR140/Ki690	見て学ぶ皮膚科学:医学生と一般医家のための皮膚病図譜	喜多野征夫著	永井書店	2004
WS421/G610	未熟児をかくむディベロブメンタルケア	Edward Goldson 編集	医学書院	2005
WT155/C530	老年期痴呆の克服をめざして	長寿科学振興財団 編集	医学書院	2005
WU113/N320	臨床家のための口腔衛生学 改訂3版	中垣晴男ほか編著	永末書店	2004
WV100/Ku140a	耳鼻咽喉科学 第2版(Minor textbook)	久保武ほか著	金芳堂	2004
WV220/F740	耳介の形成外科(形成外科手術手技選書)	福田修ほか編著	克誠堂出版	2005
WV500/B650	新ことばの科学入門	Gloria J.Borden ほか著	医学書院	2005
WV500/H710	言語聴覚士テキスト	小松崎篤ほか編	医歯薬出版	2005
WW100/Mi530	眼の事典	三島濟一総編	朝倉書店	2003
WW168/I540	外眼部外来手術マニュアル	稲富誠, 田邊吉彦編	メディカル葵出版	2005
WX167/I130	標準予防策実践マニュアル:これからはじめる感染予防対策	ICHG 研究会編	南江堂	2005
WX167/Ko120.2a	最新病院感染対策 Q&A:エビデンスに基づく効果的対策 第2版	小林寛伊責任編	照林社	2004
WX173/Ma680	診療情報の法的保護の研究	増成直美著	成文堂	2004
WX215/N770	病院前救護とメディカルコントロール	日本救急医学会メディカル コントロール体制検討 委員会編	医学書院	2005
WY20.5/Sa220/2002	最新看護索引 2002	日本看護協会看護研修 センター図書館編	日本看護協会	2005

請求記号	書名	著編者	出版者	出版年
WY20.5/To460/2005	看護学科研究報告書 2005	東京慈恵会医科大学医学部看護学科研究委員会	同研究委員会	2005
WY31/O230	看護統計学への招待 改訂 3 版	緒方昭著	金芳堂	2004
WY32/H820/2004	看護法令要覧 平成 16 年版	井上幸子ほか編	日本看護協会出版会	2004
WY86/N711	看護覚え書き：本当の看護とそうでない看護	フロレンス・ナイティンゲール著	日本看護協会出版会	2004
WY100/N551/23	注射・輸液ナーシング (Nursing mook ; 23)	山西文子編	学研	2004
WY105/Y530	ナースのためのコーチング活用術	柳澤厚生編著	医学書院	2003
WY164/Ka920/応用	事例に学ぶ透析看護：応用編	川口良人, 大平整爾編	日本メディカルセンター	2004
WY164/Ka920/基礎	事例に学ぶ透析看護：基礎編	川口良人, 大平整爾編	日本メディカルセンター	2005
007.1/Ta290	新編画像解析ハンドブック	高木幹雄, 下田陽久監修	東京大学出版会	2004
371.43/H930	スクールカウンセラー活用マニュアル	細川廣, 藤原一夫, 谷口清編著	コレール社	2005
432/J510c/5	化学実験のための基礎技術 第 5 版 (実験化学講座 ; 5)	日本化学会編	丸善	2005
432/J510c/23	無機化合物 第 5 版 (実験化学講座 ; 23)	日本化学会編	丸善	2005
463/1760 (参考 2)	細胞生物学事典	石川統ほか編	朝倉書店	2005
464.1/N231 (参考 3)	先端医学キーワード小辞典	長野敬ほか編	医学書院	2004
813.1/Ko190 (参考 2)	講談社国語辞典 第 3 版	阪倉篤義, 林大監修	講談社	2004
823/Su380 (参考 8)	デイリーコンサイス日中辞典	杉本達夫ほか共編	三省堂	2005
823/Su380.1 (参考 2)	デイリーコンサイス中日辞典 第 2 版	杉本達夫, 牧田英二, 古屋昭弘共編	三省堂	2005
833/A870 (参考 2)	アドバンスフェイバリット和英辞典	浅野博ほか編	東京書籍	2004
参考 10	六法全書 平成 17 年版 ; 1-2	我妻栄, 宮沢俊義編	有斐閣	2005
参考 10 法	環境六法 平成 17 年版	環境庁環境法令研究会編	中央法規出版	2005

新着案内 (洋書) (2005. 6. 20～8. 7)

請求記号	書名	著編者	出版者	出版年
QU55/A160/68	Cell surface receptors (Advances in protein chemistry ; v. 68)	ed. by K. Christopher Garcia	Elsevier Academic Press	2004
QU135/Me850/391	Liposomes ; pt. E (Methods in enzymology ; v. 391)	ed. by Nejat Duzgunes	Elsevier Academic Press	2003
QU135/Me850/392	RNA interference (Methods in enzymology ; v. 392)	ed. by David R. Engelke, John J. Rossi	Elsevier Academic Press	2005
QW4/C160	Microbiology : a laboratory manual 7th ed. ; International ed.	James G. Cappuccino, Natalie Sherman	Pearson/Benjamin Cummings	2005
QW504/A160/86	Advances in immunology ; v. 86	edited by Frederick W. Alt	Academic Press	2005
QW504/1470/203	Human models of immune disorders (Immunological reviews ; v. 203)	Mary Ellen Conley, guest editor	Blackwell Munksgaard	2005
QZ15/Tn10c	TNM atlas : illustrated guide to the TNM/pTNM classification of malignant tumours 5th ed.	ed. by C. Wittekind et al.	Springer	2004
QZ35/G440	Handbook of pediatric autopsy pathology	Enid Gilbert-Barness, Diane E. Debich-Spicer	Humana Press	2005
QZ200/B720	Oncogenomics : molecular approaches to cancer	edited by Charles Brenner, David Duggan	Wiley-Liss	2004
QZ266/A130b	Clinical oncology 3rd ed.	ed. by Martin D. Abeloff et al.	Churchill Livingstone	2004
WA670/C850	Dioxins and dioxin-like compounds in the food supply : strategies to decrease exposure	Institute of Medicine of the National Academies	National Academies Press	2003
WA670/Mo140	Environmental health 3rd ed.	Dade W. Moeller	Harvard University Press	2005
WB100/C960/2005	Current medical diagnosis and treatment 2005 : 44th ed (A Lange medical book)	edited by Lawrence M. Tierney, Stephen J. McPhee, Maxine A. Papadakis	McGraw-Hill, Health Professions Division	2005
WD300/R450	Allergy in practice	by Johannes Ring	Springer-Verlag	2005
WF970/Su760c/1	Sabiston & Spencer surgery of the chest ; v.1 7th ed.	editor-in-chief, Frank W. Sellke	Elsevier Saunders	2005
WF970/Su760c/2	Sabiston & Spencer surgery of the chest ; v.2 7th ed.	editor-in-chief, Frank W. Sellke	Elsevier Saunders	2005
WG141.5/F180	Feigenbaum's echocardiography 6th ed	Harvey Feigenbaum, William F. A., Thomas Ryan	Lippincott Williams & Wilkins	2005
WI900/So220	Therapeutic endoscopy : color atlas of operative techniques for the gastrointestinal tract 2ne edition, revised and update	Nib Soehendra, et al.	Thieme	2005
WJ378/H890	Replacement of renal function by dialysis 5th ed.	edited by Walter H. Horl, et al.	Kluwer Academic Publishers	2003
WK700/L640	Adrenal glands : diagnostic aspects and surgical therapy	ed. by Dimitrios Linos and Jon A. van Heerden	Springer-Verlag	2005
WL104/H291/21	Dopamine (Handbook of chemical neuroanatomy ; v. 21)	ed. by S.B. Dunnett et al.	Elsevier	2005
WL141/L340/1	Imaging of the nervous system : diagnostic and therapeutic applications ; v. 1	edited by Richard E. Latchaw, John Kucharczyk, Michael E. Moseley	Elsevier Mosby	2005
WL141/L340/2	Imaging of the nervous system : diagnostic and therapeutic applications ; v. 2	edited by Richard E. Latchaw, John Kucharczyk, Michael E. Moseley	Elsevier Mosby	2005
WL314/D990	The human hippocampus : functional anatomy, vascularization, and serial sections with MRI 3rd ed	Henri M. Duvernoy, et al.	Springer	2005
WP570/N590a	Endocrine disruptors : effects on male and female reproductive systems 2nd ed.	ed. by Rajesh K. Naz	CRC Press	2005

請求記号	書名	著編者	出版者	出版年
WS340/W360	Brain and spinal tumors of childhood	edited by David A. Walker. et al.	Arnold	2002
WV168/O860c/1-4	Cummings otolaryngology : head & neck surgery 4th ed ; v. 1-v.4	ed. by Charles W. Cummings et al.	Elsevier Mosby	2005
WV340/L580	Sinus surgery : endoscopic and microscopic approaches TMP	Howard L. Levine, M. Pais Clemente	Thieme	2005
WZ112/G880/5	Britain & Japan : biographical portraits ; v.5 (高木兼寛 p.209-222)	edited by Ian Nish	Japan Library	2005
463/Ke561	Regulatory mechanisms of intracellular membrane transport (Topics in current genetics ; 10)	Sirkka Keränen, Jussi Jäntti, eds.	Springer	2004
463/Ko270	Atlas of cell organelles fluorescence	Elli Kohen, et al.	CRC Press	2004
463/L630	Cell surface receptors : a short course on theory & methods 3rd ed	by Lee E. Limbird	Springer	2005

編集・発行所 東京慈恵会医科大学医学情報センター 〒105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8 TEL 03-3433-1111
印刷所 五光印刷株式会社 〒335-0005 埼玉県蕨市錦町 2-11-26 TEL 048-447-3444